

後 期

国語

（45 分 100 点）

<注意事項>

- ① 試験開始の合図があるまで、この問題用紙は開かないようにしてください。
解答用紙は別になっています。
- ② 問題は 【一】 ～ 【三】 まで 3 題あります。
- ③ 試験時間は 45 分です。
- ④ 解答用紙には、以下の例にならって受験番号、小学校名、氏名を必ず記入してください。

受験番号：9038 氏名：興南 太郎 出身小学校：〇〇〇〇小学校 の場合の記入例

のところへ記入してください

得点(記入しないこと)		令和〇年度 興南中学校 〇期入学試験 〇〇	
氏名	興南 太郎		
記入例	良い例	悪い例	小学校名
	☐	☒	〇〇〇〇 小学校

受験番号	記入しない									
	9	0	3	8						

左から順に 0～9 が並んでいます

- ⑤ 解答は解答用紙の所定のところに記入してください。
- ⑥ 解答は楷書で丁寧^{かいしよ}に記入してください。
- ⑦ 試験終了後、問題用紙は持ち帰ってください。

【一】 次の会話を読み、後の問いに答えよ。なお、指示された表記方法以外では採点されないため注意せよ。

島袋しまぶくろ…漢字の音読みと訓読みは、どうしてあるのかな？

宮城みやぎ…漢字はもともと中国の文字だから、その中国での音に近い読み方と日本語に合わせた読み方があるんだよ。

島袋…そうか。もともとは中国で使われていた文字だからか。中国の古い話からできた言葉も四字熟語に多いよね。

宮城…言葉には外国との関係性が表れるのね。日本のことわざと意味が似ているものもあるね。

島袋…言葉を知ること、海外とのつながりや昔の日本のことがわかるのは面白いね。

宮城…そうだね。昨日の校長先生のお話にも「オンコチシン」という言葉が出ていたけど、どんな意味かな？

島袋…先生が来たら、少し聞いてみよう。あつ、ちょうど先生が来たよ。

宮城…先生、昨日、校長先生が言っていた言葉を教えて！

先生…いいですよ。宮城さん、まずは、今の発言を敬語を使って言いなおしてください。

宮城…A。

先生…そうですね。「オンコチシン」という言葉は、Bという漢字で書き、Cという意味があります。例えば、

「D」が具体例に使えます。

島袋…ありがとうございます。これからたくさん言葉を学びます。

問一 次の傍線部の漢字の訓読みを言い切りの形で、送り仮名をふくめ、すべてひらがなで答えよ。

1 今日の天気は快晴だ。

2 魚の**大群**が泳いでいる。

3 食事を補助する。

問二 次の傍線部の音読み、訓読みを持つ共通した漢字をそれぞれ一つ答えよ。

1 会社にキンムする。会社につトめる。

2 オンダンな気候。アタタかい気候。

3 ホウフな資源。ユタかな資源。

問三 次のアークの四字熟語、ことわざの中から似ている意味を持つものとして適当な組み合わせを二組作り、それぞれ記号で答えよ。

ア 十人十色 イ 一日千秋 ウ 七転八倒しちてんぱつとう エ たで食う虫も好き好き オ 七転び八起き

カ 類は友を呼ぶ キ 弘法こうぼうも筆の誤りあやま ク 河童かわどうの川流れ

問四 次のア～オの言葉から和語を二つ選び、記号で答えよ。

ア 幸せ イ 幸福 ウ ハッピー エ 生物せいぶつ オ 生物なまもの

問五 A に当てはまるものとして最も適当なものを次のア～エから選び、記号で答えよ。

ア 先生、昨日、校長先生がおっしゃった言葉の意味を教えてくださいますか。

イ 先生、昨日、校長先生がおっしゃった言葉の意味を教えてくださいますか。

ウ 先生、昨日、校長先生が申し上げた言葉の意味を教えてくださいますか。

エ 先生、昨日、校長先生が申し上げた言葉の意味を教えてくださいますか。

問六

B

に当てはまる「オンコチシン」の漢字を書け。

問七

C

に当てはまる「オンコチシン」の意味として最も適当なものを次のア～エから選び、記号で答えよ。

ア 昔の物事を研究し確かめて、そこから新しい知識や考えを得ること。

イ 声や表情から、相手の心情を想像すること。

ウ 一度失敗したことを、二度とやらないように反省すること。

エ 人から受けた恩を忘れずに、自分も他人を信じて助けること。

問八

D

に当てはまる具体例として最も適当なものを次のア～エから選び、記号で答えよ。

ア テストを受けた後に、まちがえた問題をもう一度解き直して復習すること。

イ 友だちと自分の意見が合わなかったときに、どうしたら良い結果になるか考えるとき。

ウ 消しゴムを忘れて貸してもらったあとに、自分も他の友達に消しゴムを貸すとき。

エ 自由研究をする前に、過去にはどのようなものがあったのかを調べてテーマを決めること。

【二】次の文章を読み、後の問いに答えよ。なお、指示された表記方法以外では採点されないため注意せよ。

つつこみ力では、わかりやすさを重視します。お笑いでも、ボケ役は、ときにわかりづらいボケをかますことがありますが、そのわかりづらいボケをすかさず拾って、客にわかるように伝え、盛り上げることができかどうかが、いいツツコミ役の条件です。つつこんで余計にわかりづらくなってしまつては、台無しです。

A、²論理力や批判力を重視する人は、知らず知らずのうちにそういうことを平気でしてゐるんです。ご本人は論理的に説明してゐるつもりでも、こちらにはさっぱり伝わらない。なにを批判したいのか、^①相手にも、第三者にもよくわからないことがあります。

ときおり、学者のあいだから、「わかりやすけりやいいってもんじゃないだろ」みたいな妙なつぶやきが聞こえてくるんです。B、³ちよつと信じられないのですが、三〇、四〇代の若手までがそんなことをいうんです。

学者病の最たる症状、⁴というか、末期症状と診断すべきかもしれません。学問的価値のある理論はわかりづらいものだとする時代錯誤な考えかたが、いまだに若手の学者のあいだにまで受け継がれてゐるのは、やっぱり一種の病気です。

②わかりやすく、⁵具体的なたとえて考えてみましょう。特殊な物理学みたいな、一般にはまるでなじみのない専門的な研究をしてゐる独身男に、彼女ができたとしましよう。

彼女は理工系の知識が全くない、ごく普通のOLです。^③血液型占いを百パーセント信じてます。クルマの免許はオートマ限定です。インターネットってヤフーがやっているんでしょ、みたいなことをいいます。

その彼女に、「あなた、毎日どんな研究をしているの」と聞かれたら、男はどうするでしょうか。「おまえなんかには、わからねえよ。理解できるレベルまで勉強してから、もう一度質問しろよ」と冷たくあしらうでしょうか。

すると彼女は物理の猛勉強を始め——なんて展開には、絶対に、なりません。そんな冷たいあしらい方をすれば、彼女は背

を向けて去っていくだけです。そうなるから「キミとボク^{*7}のベクトルは、永久に重なり合わないんだね」とつぶやいても、後の祭りです。

本当に大切に思っている人から、どんな研究してるのかと聞かれたら、必死になってわかりやすく説明しようとするはずですよ。少なくとも、必死に伝える努力をしますよね。恋人^{こい}にわかりやすく説明しようとする気持ち、愛なのです。

なんでその愛情を、学生や一般^{ぱん}の人にも向けようとしないうんですか。わかりやすけりゃいいってもんじゃないだろ、なんて平気でいい放つ学者は、学生や一般人にわかってもらおうという愛がまるでないんです。そんな料簡^{*8}で、学生に教えてるんですから、大学生の学力が低下するのもムリはありません。

それどころか、ちかごろじゃ、自分が説明ベタでシロウトに理解してもらえないのを棚^{たな}に上げて、世間を見下す学者まであらわれました。

世間知・専門知なんて区別が、いつのまにか学問の世界にはびこっているんです。専門家の知識が社会を正しい方向に導けるはずなのに、世間やマスコミには愚^{おろ}かな間違^{まちが}った知識がはびこっており、それが社会の進歩を妨^{さまた}げているのだ、という、

^{*10}俺様^{おれ}モード全開の鼻持ちならない考えです。

まあ、たしかに、世間の人たちは、論理や理屈^{くつ}をいわれても、なかなか考えを変えようとはしません。世間の人たちが古い常識に凝^こり固まっているというのも、ある程度は事実です。それはたしかにありますけどね、でも、学者や専門家の説明があまりにもヘタで、わかってもらおう努力もしていないせいもあるんじゃないですか。

いえ、私はむしろ、^④そっちの要因^④のほうが大きいと思っています。なぜなら、学者が書いた本でも、わかりやすくしておもしろければ、何十万部も売れるじゃないですか。世間の人には愚^{おろ}かで学がないかもしれないけど、決して、聞く耳を持たないわけじゃないんですよ。

こっちの説明を理解できるまで勉強しろなんていいぐさは、甘えあまですし、責任転嫁てんかです。ちかごろは医者だって、医学のシロウトである患者かんじやへの説明責任を果たせなきゃいけないんです。裁判員制度*12が始まれば、弁護士は、法律の専門家である裁判長でなく、シロウトの裁判員にわかる言葉で説明しなければなりません。

これからの時代は、シロウトに説明できるだけの国語能力を持つことが、プロの条件なんです。それができないからといってシロウトを世間知だと責める連中こそが、時代遅れおくれで自分に甘くて愛のない、救いようのないドシロウトなんです。^⑤

【パオロ・マツツアリーノ『つつこみ力』筑摩書房 ※作問の都合上、一部改変】

【語注】

- * 1 ボケ役…漫才まんざいでとぼけたことを言い、客を笑わせる役。
- * 2 論理力や批判力…正しく話の筋道を立てて伝え合う力や、正しいかどうかを考える力。
- * 3 最たる…第一番の。
- * 4 時代錯誤…考え方が時代の流れに沿っていないこと。
- * 5 OL…オフィスレディの略。会社で働く女性事務員のこと。
- * 6 オートマ…オートマチックトランスミッションの略。ギアを自分で操作せずに自動で切り替えてくれる装置。
- * 7 ベクトル…ここでは人生の方向性のこと。
- * 8 料簡…考え。
- * 9 はびこって…よくないものがいきおいを得て広がって。
- * 10 俺様モード…相手を見下しているような態度。
- * 11 責任転嫁…責任を他人に押し付けること。

*12 裁判員制度：国民から選ばれた裁判員が裁判に参加する制度。二〇〇九年に始まった。

問一 二重傍線部Ⅰ「あります」の主語として最も適当なものを次のア～オから選び、記号で答えよ。

お笑いでも、ボケ役は、ときにわかりづらいボケをかますことがあります。

ア お笑いでも イ ボケ役は ウ ときに エ ボケを オ ことが

問二 二重傍線部Ⅱ「してるんです」を書き言葉に直して答えよ。

問三

A

B

に当てはまる語として最も適当なものを次のア～オからそれぞれ選び、記号で答えよ。

ア もし イ しかも ウ だから エ なぜなら オ しかし

問四 傍線部①「相手にも、第三者にもよくわからないことがあります」とあるが、この理由として最も適当なものを次のア

～オから選び、記号で答えよ。

ア わかりづらいことを、よりわかりづらい説明で伝えてしまうから。

イ 論理的に説明しても、相手の能力が低いと伝わらないから。

ウ わかりづらいのは、相手が間違った知識を持っているから。

エ 学者たちは学問的価値のあることを考えているから。

オ わかりやすいことが良いことではないと考えているから。

問五 傍線部②「わかりやすく」に傍点がついている理由として最も適当なものを次のア～オから選び、記号で答えよ。

ア 筆者が学者であることを強調するため。

イ 筆者に批判力があるということを示すため。

ウ 筆者が読者を見下しているから。

エ 筆者が学者とは違うことを強調するため。

オ 筆者が論理的に説明する自信があるため。

問六 次の会話文は、傍線部③「血液型占いゝいいいます」について生徒たちが話し合っている場面である。これを読み、次の

問いに答えよ。

花子…この部分は「ごく普通のOL」についての説明だよね。

太郎…そうだね。この本は二〇〇七年に書かれた本なので、これこそ時代錯誤なイメージかもしれないね。

花子…「血液型占いを百パーセント信じています」と書いてあるということは、Xというイメージを持っているという

ことだよね。

太郎…そうだね。「クルマの免許はオートマ限定です」というのも同じかな。

花子…クルマの免許は「マニュアル」と「オートマ限定」があつて、「マニュアル」のほうは男性が、「オートマ限定」は女

性が多いというイメージがあるようだね。

太郎…そうなんだ。でも、Yこのデータを見ると筆者のイメージは今の時代とは合わないかもしれないな。

花子…本は出版当時の考え方を反映しているといえるね。

太郎：現代の考え方とは違う考えがあったことを知ることができるね。

1

X

に当てはまるものとして最も適当なものを次のア～オから選び、記号で答えよ。

ア 理系の知識がある人は、血液型占いを信じる人は少ない。

イ 理系の知識がある人は、血液型占いを信じている人は多い。

ウ 理系の知識がある人は、血液型占いをデータで分析する。ぶんせき

エ 理系の知識が無い人は、血液型占いを信じていない。

オ 理系の知識が無い人は、普通のOLとは言えない。

2

傍線部Y「このデータ」とあるが、この場合にどのようなデータを使うと筆者のイメージが今の時代と違うと言えるのか。最も適当なものを次のア～オから選び、記号で答えよ。

ア 当時の女性の免許を持っている人の割合と、今の女性の免許を持っている割合のデータ。

イ 当時と今の男性の「オートマ限定」の免許を持っている人の割合のデータ。

ウ 男女別の「オートマ限定」免許を持っている割合の、当時と今のデータ。

エ 女性の「オートマ限定」の免許を持っている人の人数の当時と今のデータ。

オ 女性の「オートマ限定」の免許を持っている人の男性と比較する当時のデータ。

問七 傍線部④「そっちの要因のほうが大きい」について、次の問いに答えよ。

1 「そっちの要因」とは何か。「ㄱ」という要因」に合う形で本文中から三十四字で特定し、その初めと終わりの五字をそれぞれ抜き出して答えよ。なお、句読点も一字に含む。

2 筆者がそのように考える理由として最も適当なものを次のア～オから選び、記号で答えよ。

ア 学者が書いた本であって内容が面白くなくても、テーマが面白ければ何十万部も売れるから。

イ 学者が書いた本であっても、わかりやすく面白い内容で読者に伝わればその本が売れるから。

ウ 世間の人は愚かで学が無いかもしれないので、聞く耳を持っていないと考えているから。

エ 世間の人に学者の考えが伝わらないのは、学者の説明がへただと考えているから。

オ 学者が説明ベタなのを、世間の人が勉強不足なせいで伝わらないのだと考えているから。

問八 傍線部⑤「救いようのないドシロウト」にならないために必要なことは何か。本文中から二十二字で特定し、抜き出して答えよ。

【三】 次の文章を読み、後の問いに答えよ。なお、指示された表記方法以外では採点されないため注意せよ。

①「絶対に降るから、持って行きなさいよ。傘」

今、母さんは独自の天気予報に凝^こっている。毎朝、何の根拠^{こんきょ}もない予報を立てては一日の天気を豪語^{*1}する。お陰で私は空模様に拘^{こだわ}らず、しょっちゅう傘を持たされる。「一日を順調に過ごせるかどうかの鍵は天気が握^{にぎ}っている」母さんの持論だ。晴れなのに傘を持^もつていては動きが鈍^ぶるし、心の準備なしに雨に降られるのは長年付き合^あった恋人に突然別れを告げられるのと同じくらい気が滅入^{めい}ることなのらしい。

しかし、その予報とやらない加減なもので、我が家の二階から見える空の雲の面積と青空の面積によって割り出されたり、洗濯物^{たぐ}に含まれる匂^{にお}いの香ばしさの度合いによるものだったり、まったく説得力はない。もちろん、母さんは真剣^{けん}そのもので、さまざまな方法を編み出^あしてはややこしい計算をしたり、庭の虫を観察したりして、天気予報に専念^{せんねん}している。

今回は天気予報だが、いつも母さんは何事にも必要以上に夢中になる。その代わり冷めるのも即行^{そつこう}で、いつも趣味の域を越^こえてのめりこみ、趣味になる前に飽^あきてしまう。

この間まで母さんを魅了^{みりょう}していたのはパッチワークで、リビングの三分の一が趣味の悪い母さんの作品で埋^うまっていた。その前はジグソーパズル。既製品^{きせいひん}では飽^Bき足らず、自分でパズルを作り、ばらしては組み立てていた。川柳^{せんりゅう}、編物、コーラス。母さんは秩序^{ちつじょ}も節操^{せつそう}もなく、あらゆるものとりこになる。

最悪だったのはイタリア料理にはまっていた時で、私は二ヶ月の間ほぼ毎日、朝も晩も母さんの手打ちパスタを食べ続け、学校でんにくの匂^{にお}いを振りま^ふいてはひんしゆくを買^Cっていた。

「いらないうて。こんないい天気なのに」

外は完全に晴れた。私は母さんが出してあった折り畳み傘^{たた}を片付けた。

「朝は晴れてても、昼過ぎから降るんだから」

母さんは傘を持たない私に不服そうに言った。

「一昨日もそう言ってたけど、結局雨なんて一滴も降らなかったじゃん」

「一昨日は調子が悪かったの。今日は冴えてるもの。絶対当たるわよ。ほら、ポトスの葉がうつむきかげんでしょ。うん。十一時過ぎから雨が降る」

母さんの天気予報はやたらめったら雨の確率が高いが、梅雨明け宣言を済ましたこの街に雨はあまり残っていない。そもそもそんなに雨に降られては困る。

雨は私の天敵だ。どういうわけか雨が降ると私は確実に頭痛を起こす。小雨だろうと豪雨だろうと通り雨だろうと、空から雨滴が落ちてきたら即行で頭が痛くなる。雨さえやめばぴたりと治まるからたいしたことはないのだけれど、梅雨の季節はバファリンが手放せなかった。

雨の降る前には、頭が重くなる。母さんのでたらめな天気予報より、私の頭のほうが的確に降水確率を当てられる。今日は頭が軽い。いつも以上にすっきりしている。

「俺は持っていくよ」

③ 佐々木は大きな黒い傘を手にとった。

「ばかみたい」

家を出ると、私は佐々木の黒い傘を見ながら小声で言った。

「見てごらんよ、向こうのほう。空が黒ずんでいる」

佐々木は顔を上げて遠くの空を示してみせたが、残念ながら空はどこまでも真っ青だった。

「新聞見た？ 降水確率0%だったよ」

朝のテレビも快晴だと言いつついた。私が教えてやると、佐々木はふふと笑った。

「見ず知らずの気象予報士と親愛なる里子さんとどっちが信用できる？ 雨は降るよ」

佐々木は半年前にやって来た新しい父親だ。のめりこんではすぐに飽きる母さんには珍しく、佐々木とは六年の間付き合
い続けていた。

ゆっくりじっくり父親になったから、佐々木が母さんと結婚したことに抵抗はない。がむしやらに働きはするけど、残念な
がら器用とはいえない母さんの仕事っぷりを考えると経済的にも再婚は正解だった。佐々木は存在感の薄い奴だから、一緒に
暮らすことも支障はなかった。

ただ、私は佐々木を好きにはなれなかった。顔も性格もたいしたことないし、なんとなく気に入らなかった。

「そのうち良さがわかるわよ」母さんはそう言ってたけど、私はまだ佐々木の良いところを見つけれない。

「雨降るか降らないか賭ける？」

私は少し遅れて歩く佐々木のほうを振り返って言った。

「賭けるって？」

「佐々木、絶対雨降るんだと思ってるんでしょ？そんなに自信あるんだったら賭けようよ。私は降らないって思うから」
空はどこにも水分を含んでいない。私は100%勝てる賭けを提案した。

「いいよ」

佐々木はあっさり承諾しょうだくした。

「いくら賭ける？」

「そうだな……。きりのいいところで、百万」

「百万!？」

私はせいぜい千円くらいの小遣づかいかせぎになればいいと思っていたから驚おどろいた。

「どうせ賭けるんなら、それくらい思い切らないと面白くないだろ」

佐々木は大人の顔で笑って言った。

「そうかもしれないけど、百万ってほんとに佐々木払はらえるの？」

「僕は大丈夫じょうず。でも、中学生に百万はきついだろうから、雨降ふったら、早季子さきこちゃんは僕の願いごとを一つ叶かなえることにしよう」

私は佐々木の提案を鼻で笑った。願いごと。どうせ「ちゃんとお父さんと呼べ」みたいなことを言うのだろう。気持ち悪い。

まあ、雨は降らないからどうでもいいけど。

大通りに出ると、中学生がどっと増えた。私は速度を速めて、佐々木との距離きょりを広げた。

「早季子ちゃん、いつてらっしゃい」

佐々木の声こゑを聞きこえないふりをして、私は走り出した。

佐々木の欠点はたくさんあるけど、私がいちばん受け付けないのは、人目をはばからないところだ。道端みちばただろうが店の中だろうが、誰だれと一緒にいようが何のかまいもせず、大きな声で私の名前を呼ぶ。*2 TPOというものを知らない。

私はまだ中学生だけど、時と場合と接する人によって態度が変わる。二重人格とかいうのではなくて、それはとても自然なことで当たり前なことだ。なのに、佐々木はそういうのがまるでない。いつでもどこでも誰にでも全く同じ態度。母さんに対しても私に対しても全くの他人に対しても同じ。

母さんと佐々木が結婚する前に、何度か三人で食事に行ったことがあるが、佐々木はフランス料理店だろうが、ラーメン屋だろうが、いつも同じテンションで注文し、私を時々赤面させた。母さんはそこがいいところなのよ、と言うけど、まったく理解できない。

【語注】

*1 豪語…えらそうに大きなことを言うこと。

*2 TPO…タイム(時)、プレース(場所)、オケーション(場面)の頭文字をとった和製英語。時、場所、場面を考えることを指す。

問一 二重傍線部A「のめりこみ」B「飽き足らず」C「ひんしゆくをかう」の意味として最も適当なものを次のア～エからそれぞれ選び、記号で答えよ。

A 「のめりこみ」

ア 前方にたおれかかり

イ そのことに心奪^{うば}われ抜^ぬけ出せなくなり

ウ 地面に埋^うまるように動けなくなり

エ とても楽しそうに

【瀬尾まいこ『雲行き』筑摩書房 ※作問の都合上、一部改変】

B 「飽き足らず」

ア 満足して イ 不満をもって ウ 色々なことに手を出して エ 十分に満足せず

C 「ひんしゆくを買って」

ア 他者から嫌きらわれて イ 他者に好意的に思われて ウ 他者の気を引いて エ 他者の注目を集めて

問二 傍線部①「絶対に降るから、持っていきなさいよ。傘」とあるが、これに対する「私」の心情として最も適当なものを次のア～オから選び、記号で答えよ。

ア 母親の根拠のない予想は迷惑わづでもあるが、当たることもあるためその時は感謝の気持ちが生まれている。

イ 母親の持論には納得しているものの、いい加減な予報で当たらないので気が滅入めいりゅうってしまっている。

ウ 母親に傘を持たされることには迷惑だが、母親が真剣なので自分への愛情を感じて受け入れている。

エ 母親の天気予報は根拠も説得力もないため、これまでの母親が夢中になっていたものと同じように迷惑に感じている。

オ 母親が何かのとりこになるのはいつものことなので、飽きるまでのがまんとして適当に受け流している。

問三 傍線部②「降水確率を当てられる」とあるが、その理由となる次の文の空欄A Bに入る言葉を、本文中から指定の文字数でそれぞれ特定し、抜き出して答えよ。

雨が降ると「私」は（ A…八字 ）し、そうなる直前には（ B…六字 ）から。

問四 傍線部③「佐々木」について、次の問いに答えよ。

1 「佐々木」が傘を持つ理由と考えられる一文を特定し、その初めの五字を答えよ。

2 なぜ「私」は「佐々木」と呼ぶのか。その理由として最も適当なものを次のア～オから選び、記号で答えよ。

ア 「佐々木」は新しい父親ではあるが、母親と結婚する前から呼んでいた佐々木のままで通しているから。

イ 母親が再婚した相手ではあるが、その母親への愛が強いことにはずかしさを覚えて距離を置こうとしているから。

ウ 母親と再婚し、新しい父親にはなつたがなんとなく気に入らず、好きにはなれていないから。

エ 本当の父のことを考えると、まだまだ「お父さん」と呼ぶことが出来ず、距離感を感じているから。

オ 母親との再婚相手としては正解であるが、一緒に生活していても問題がないほど存在感が無いから。

問五 傍線部④「聞こえないふりをして」とあるが、この時の「私」の心情として最も適当なものを次のア～オから選び、記号で答えよ。

ア お父さんとしてふるまおうとしている様子が覚えて気持ち悪く感じているため、無視をしてその気持ちを示した。

イ 百万円をかけるなどと言い出したことが自分をまだまだ子供だと馬鹿にしているように感じて、怒り^{いか}を覚えた。

ウ 「いってきます、お父さん」と返してほしい気持ちが、いつも「私」を呼ぶ声の大きさに表れていて嫌っている。

エ どこでも大きな声で「私」の名前を呼び、そのことで周囲に父親としてアピールしているのが嫌だ。

オ 人が多い場所で一緒にいることが恥ずかしく、人目をはばからず声をかける佐々木とは早く離れたい。

問六 傍線部⑤「それ」が指す内容を「こと」に続く形で本文中から二十字以内で特定し、抜き出して答えよ。

問七 この文章の特徴として最も適当なものを次のア～オから選び、記号で答えよ。

- ア 天気予報というテーマから人間の心はすぐに変わるということを表現している。
- イ いろいろな人の心情を表現するために、たくさんの視点からえがかれている。
- ウ 会話文を中心としながらも、「私」の心情が心の中の言葉としてえがかれている。
- エ 新しい家族の中で思春期の娘が幸せであることを、会話からわかるようにしている。
- オ 「私」が多くのごことに不満を持っている様子が、会話文の少なさで表現されている。